

にっせき ぬくもり通信

<http://www.matsuyama.jrc.or.jp/>

Vol.24
2011年1月1日



編集・発行／松山赤十字病院
〒790-8524 松山市文京町1番地
TEL089-924-1111 FAX089-922-6892

《基本理念》人道・博愛・奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。



❀ ❀ ❀ 年 頭 挨拶 ❀ ❀ ❀

松山赤十字病院 院長 渕上 忠彦

明けましておめでとうございます。

昨年は、一昨年に民主党政権が誕生し、多くの面で期待が持てる年になるだろうと思っていたのですが、結果は悲惨なものでした。鳩山政権は「政治とカネ」、「普天間基地移設問題」で混乱を引き起こし、1年も持たずに崩壊しました。クリーンなイメージということで登場した菅政権には「この国のあり方」に関する大局観が感じられません。対外的には場当たりの対応で国威の失墜は目を覆うばかりでした。国内的には多くの問題を抱えながらも何一つ解決の糸口も見えません。景気も一向に回復せず、民主党が掲げたマニフェストを実現するには財源不足は明らかです。医療に関するマニフェストは「医療崩壊を食い止め国民に質の高い医療サービスを提供する。」でした。このままでは、自民政権時代に始まった医療崩壊の流れは食い止められないばかりか、国自体が衰退の一途をたどりそうです。国会では野党は野党で、「国のあり方」などは考えず、与党の非をあげつらうのみで、不毛の時間が費やされました。

今年もお先真っ黒な年になりそうですが、民主党が掲げた医療崩壊を防ぐマニフェストは当院では10年以上前から取り組んでいます。平成9年11月に地域医療連携室を県下で初めて開設しました。その目的は、地域の機能の異なる医療機関が役割を分担し連携することによって、限られた医療資源を有効に活用し、病状、利便性に応じて、地域住民に安心・安全で良質な医療を、切れ目なく提供できる体制を作ることです。一言で言えば、「地域全体で支えあう医療」の提供です。その取り組みが評価され、当院は平成17年5月には愛媛県知事より「地域医療支援病院」の名称使用の承認を得ています。

当院の基本理念は「人道、博愛、奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。」です。いかなる悪環境になろうとも、当院は職員一丸となりこの理念を貫き通します。今年こそは、皆様にとって何か一つでも希望の灯が見えますことを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。昨年に増しての当院へのご支援よろしくお願いいたします。

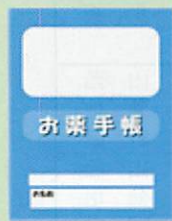
あなたにとって、お薬手帳は大切な治療の情報です。 受診の際は必ず持参しましょう。

お薬手帳はあなたに処方されたお薬の名前や飲み方などの記録を残すための手帳です。医師や薬剤師にお薬手帳を見せることで、どのようなお薬を使っているのかがわかり、同じ成分のお薬が重なっていないか、飲みあわせに問題がないか等の確認ができます。またお薬によるアレルギーや副作用歴も確認できます。現在飲んでいるお薬が検査や手術等の治療に影響を与える場合もあるため、お薬手帳による持参薬の確認はとても大切です。

お薬手帳を持つことにより、患者さん自身が積極的に医療に参加し、よりよい薬物療法を受けることができます。医療機関に受診する時は必ずお薬手帳を持参しましょう。

入院の際は、内服中のお薬をすべてご持参ください。

入院中は、原則として松山赤十字病院以外で処方された薬は、処方することができません。入院中に、薬が切れないう入院時に持参をお願いします。不明な点がございましたら、お気軽に各科外来までお尋ねください。



ヤクルトスワローズの選手が小児病棟の慰問へ

11月4日から11月21日迄の間、松山市の坊っちゃんスタジアムで秋季キャンプを行っていた東京ヤクルトスワローズの野球選手3人が、キャンプ中の11月18日(休)当院小児病棟の慰問のため来院されました。

今回は由規選手、村中恭兵選手、増渕竜義選手の3投手がユニフォーム姿で来院、入院中の子供たちに「早く元気になってね」と激励しながら、同球団のTシャツや帽子等のプレゼントを手渡しました。入院中の子供たちは野球選手の突然の訪問にびっくりしながらも、楽しいひと時を過ごせた様子でした。

